

1 認知状況

【全国】令和8年4月末現在 ・ 【宮崎県】令和8年5月末現在

特殊詐欺とは、被害者に（1）電話やSNS等を通じて、対面することなく信頼させ又は関係を深めて信用させ、（2）指定した預貯金口座への振込その他の方法により、（3）現金等をだまし取る犯罪（現金等を脅し取る恐喝及び隙を見てキャッシュカード等を窃取する窃盗を含む。）の総称。
令和8年4月1日の類型整理により、ニセ警察詐欺等から独立した手口と位置付けたほか、SNS型投資詐欺、SNS型ロマンス詐欺を特殊詐欺の手口とそれぞれ位置付け、全13手口と整理された。

	<全国> 金額は億円	特殊詐欺 全体	増減		特殊詐欺手口13類型												
			件/円	比率%	ニセ警察	オレオレ	預貯金	架空請求	還付金	融資保証金	金融商品	ギャンブル	交際あつせん	その他	キャッシュカード詐欺	SNS型投資	SNS型ロマンス
令和5年	認知件数	19,038	+1463	+8.4	-	3,955	2,754	5,198	4,185	188	411	19	9	102	2,217	-	-
	被害金額	452.6	+70.4	+22.0	-	133.5	38.5	140.4	51.3	2.4	51.9	0.5	0.2	4.1	29.8	-	-
令和6年	認知件数	21,043	+2005	+10.5	-	6,752	2,276	5,716	4,070	338	78	21	86	321	1,385	6,413	3,824
	被害金額	718.8	+266.2	58.8	-	458.4	25.5	133.8	63.7	2.4	6.3	1.1	3.2	6.0	18.2	871.1	400.9
令和7年	認知件数	27,832	+6789	+32.3	-	14,489	1,707	5,706	3,179	379	206	33	482	408	1,243	9,523	5,645
	被害金額	1,423.1	+704.3	+98.0	-	1,138.1	21.7	131.7	61.9	3.7	22.1	1.4	19.7	8.4	14.4	1,288.0	546.4
令和8年 【4月末】	認知件数	14,898	+2965	+24.8	3,058	1,130	323	2,086	906	111	119	15	224	411	472	4,381	1,662
	被害金額	1,260.0	+517.9	+69.8	325.2	41.7	3.1	53.1	19.4	0.8	15.3	0.6	8.3	23.1	5.1	592.5	171.8
昨年同時期	認知件数	11,933	-	-	2,924	1,140	628	1,942	1,209	152	56	11	101	106	393	1,673	1,598
	被害金額	742.1	-	-	255.4	46.4	6.4	47.9	22.9	1.6	6.4	0.1	2.8	2.4	5.1	191.4	153.2

※警察庁刑事局組織犯罪対策部組織犯罪対策第二課集計。 ※令和8年4月1日から、特殊詐欺の手口は13類型に分類変更。 ※令和7年までの特殊詐欺の認知件数及び被害金額はSNS型投資・ロマンス詐欺を除く数値。
※令和6年1月1日から、SNS型投資・ロマンス詐欺を計上。 ※令和7年の数値は確定値。被害金額は、百万円以下四捨五入。令和8年から全国統計は四半期ごとに発表。令和8年4月末の数値は暫定値。

	<宮崎県> 金額は万円	特殊詐欺 全体	増減		特殊詐欺手口13類型												
			件/円	比率%	ニセ警察	オレオレ	預貯金	架空請求	還付金	融資保証金	金融商品	ギャンブル	交際あつせん	その他	キャッシュカード詐欺	SNS型投資	SNS型ロマンス
令和5年	認知件数	52	±0	0	-	3	2	34	7	0	2	1	0	1	2	-	-
	被害金額	35,808	+22,180	+162.7	-	1,181	5,156	14,889	604	0	13,425	71	0	175	307	-	-
令和6年	認知件数	155	+103	198.1	-	21	0	48	1	1	1	1	1	0	60	21	
	被害金額	110,158	+74,350	207.6	-	14,077	0	4,630	50	450	234	539	255	0	67,040	22,884	
令和7年	認知件数	173	+18	11.6	-	39	1	43	0	6	3	0	4	2	40	35	
	被害金額	141,344	+31,186	28.3	-	33,727	1,081	4,996	0	722	949	0	821	162	58,078	40,807	
令和8年 【5月末】	認知件数	73	-11	-13.1	15	0	15	1	0	0	0	2	0	0	25	15	
	被害金額	71,349	+11,699	19.6	10,079	0	1,611	99	0	0	0	184	0	0	46,484	12,892	
昨年同時期	認知件数	84	-	-	-	21	1	26	0	2	2	0	2	0	16	14	
	被害金額	59,650	-	-	-	18,450	1,081	2,574	0	411	499	0	0	162	22,119	14,354	

※被害金額は、千円以下四捨五入。令和8年から、これまで「オレオレ詐欺」に含まれていた「ニセ警察詐欺」が独立。
※令和8年5月末の数値は暫定値。端数処理の関係上、数値に若干の誤差が生じる場合があります。

2 被害者の年齢構成・性別割合

	性別	特殊詐欺全体		ニセ警察	オレオレ	預貯金	架空請求	還付金	融資保証金	金融商品	ギャンブル	交際あつせん	その他	キャッシュカード詐欺	SNS型投資	SNS型ロマンス
		件数	比率%													
29歳以下	男性	9	14%	3		3						1			1	1
	女性	1				1										
30歳代	男性	3	10%			1									1	2
	女性	4		1	2											
40歳代	男性	7	18%	1		1									2	3
	女性	6			2										3	1
50歳代	男性	8	18%									1			3	4
	女性	5		1	1										2	1
60～64歳	男性	3	11%												3	
	女性	5			1	1									2	1
65～69歳	男性	4	7%	1											2	1
	女性	1														
70歳代	男性	10	18%	3		2									5	
	女性	3		2	1											
80歳以上	男性	2	5%	1											1	
	女性	2		2												
合計	男性	46	-	9	0	0	7	0	0	0	0	2	0	0	17	11
	女性	27	-	6	0	0	8	1	0	0	0	0	0	0	8	4

※ 端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

3 交付形態別

	合計	振込型	現金送付型	現金手交型	カード手交型	電子マネー型	決済型	カード窃取型	暗号資産送付型
件数	73	48	0	9	0	1	5	0	10
件数割合	-	65.8%	0.0%	12.3%	0.0%	1.4%	6.8%	0.0%	13.7%
被害額(万円)	71,350	51,145	0	13,075	0	13	190	0	6,927
被害額割合	-	71.7%	0.0%	18.3%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	9.7%

※ 率は小数点第2位以下四捨五入。金額は、千円以下四捨五入。
「決済型」はPayPayなどのコード決済やクレジット決済が該当
※ 四捨五入の関係上、合計が合わない場合があります。

4 ニセ警察詐欺を独立した手口として位置付けた理由

ニセ警察詐欺は、手口分類上は大半が「オレオレ詐欺」に分類されている一方、従来の「オレオレ詐欺」（いわゆる息子騙り等）の場合、被害者はほぼ高齢者に限られていたが、ニセ警察詐欺被害は高齢者以外にも被害が及んでいることや、また、ニセ警察詐欺の場合は、架空だけでなく、SNSのテレビ電話やメッセージ機能が使用されているなど、従来のオレオレ詐欺には見られない特徴が認められ、被害も顕著であることから、今後、独立した手口として位置付け把握することで、よりの確な対策につなげていくこととしたものです。